



地域学校協働活動だより

令和7年12月18日発行 福島県教育庁県北教育事務所

信陵中学校 SSR（スペシャル・サポート・ルーム）での「切り絵活動」

地域の人と一緒に子どもたちの居場所づくり

11月12日（水）に、福島市立信陵中学校 SSR（スペシャル・サポート・ルーム）で「切り絵活動」が行われました。信陵学習センターの生涯学習指導員が地域の方をコーディネートし、信陵学習センターで活動している「笹谷切り絵愛好会」の方に講師として来ていただきました。

「切り絵活動」は今年度で2年目となりますが、ほとんどの生徒が初挑戦でした。椿や、コスモスなど、自分で好きな絵柄を選び、講師の方にカッターの使い方を教えてもらいながら集中して楽しく活動に取り組んでいました。



講師の方の感想

「笹谷切り絵愛好会」は約39年続いています。私にとって学校は身近な存在です。地元の中学生在が、切り絵を楽しんでくれるのはとても嬉しいです。



SSR（スペシャル・サポート・ルーム）って？

SSRは、福島県教育委員会が不登校生徒の居場所として運営している教室です。福島市内の5つの中学校では、生徒は自分で決めた時間割をもとに学習を進めています。



担当教員の感想

SSRは基本的に自習がメインです。

普段は自分一人で学習を進めていますが、時には人と関わりながらできる活動を行ってもらえるのはとてもありがたいです。

地域で活躍している方々と交流している時は、子どもたちの表情も明るくなります。



文部科学省が全国の小・中学校などを対象に行っている調査によると、2024年度は、福島県内の公立学校で55人に1人、公立中学校では、15人に1人が不登校という結果が明らかになりました。

学習センターや公民館で活動する地域の方々と学校が、連携・協働することで、子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりや、地域の方々との自然なコミュニケーションにつながっていました。